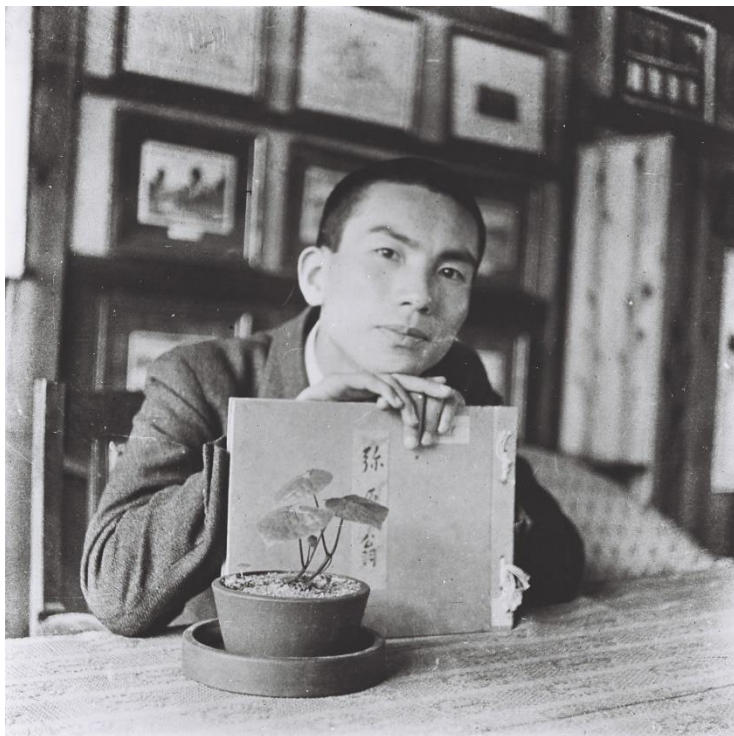




ごん吉くん

新美南吉童話イメージキャラクター

与田準一が世に出した 新美南吉の作品を読む



新美南吉 写真提供：新美南吉記念館



与田準一 昭和6年「赤い鳥」編集記者時代

- 入場無料
- 定員 先着80名

令和 5(2023)年 12 月 23 日(土)

講師

新美南吉記念館 館長
遠山光嗣氏

■時間:13:30~

■場所:みやま市立図書館 2階「多目的ホール」

よく知られた童話「ごんぎつね」は昭和 55 (1980) 年からは小学 4 年生のすべての国語教科書に採用され、今年 53 歳以下のほとんどの人が読んでいる国民的童話である。作者の新美南吉は大正 2 (1913) 年に現在の愛知県半田市に生まれ、4 歳の時に母が病死、その後母の実家の養子となるなど寂しい幼少期を過ごした。14 歳頃より盛んに童謡や童話を創作し、16 歳頃からは雑誌への投稿を繰り返した。18 歳の時には童話「正坊とクロ」が児童雑誌『赤い鳥』に掲載されたが、その頃『赤い鳥』社で編集を行っていたのが与田準一であった。その後南吉は東京外国語学校に進学し、与田とも親交を深めていくが、次第に病魔が忍びより、与田準一の尽力で南吉の第三童話集「花のき村と盗人たち」が出版されたのは彼が没してから約半年後であった。時に南吉 29 歳。巻末に記された与田の詫び状の如き追悼文が胸を打つ。

連絡先：みやま市立図書館 TEL 0944-64-1117